



平成22年9月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社まんだらけ

コード番号 2652 URL <http://www.mandarake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古川 益蔵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 川代 浩志

TEL 03-3228-0007

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	3,967	5.5	289	95.0	232	198.3	129	213.0
21年9月期第2四半期	3,759	—	148	—	77	—	41	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	116.98	—
21年9月期第2四半期	11,212.58	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	8,904	2,900	32.6	2,626.98
21年9月期	8,494	2,777	32.7	2,514.97

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 2,900百万円 21年9月期 2,777百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,781	0.9	375	3.1	250	3.0	135	1.2	112.20

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 1,206,000株 21年9月期 1,206,000株

② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 101,700株 21年9月期 101,700株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年9月期第2四半期 1,104,300株 21年9月期第2四半期 3,681株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社は、平成21年4月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を実施しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間のわが国経済は、海外経済の改善を背景に景気は持ち直してきているものの、自律性には乏しく、デフレの影響や雇用情勢の不安から個人消費は低迷しており、依然として厳しい状況が続いております。

当社が属するまんが、アニメ関連業界及び古物取扱業界は、個人における生活防衛意識の向上から低価格志向が強まり、またインターネットによる中古品売買の普及、拡大もあって景気低迷の影響を大きく受けることなく業況は推移しておりますが、業界内での提携や新規参入意欲の拡大も顕著となり、企業間の競争は激化の一途をたどっております。

このような経済環境におきまして、当社はこれまでの方針を継続し、全事業での積極的な営業活動を展開するとともに、経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期会計期間の売上高は2,076百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は168百万円（前年同四半期比182.5%増）、経常利益は138百万円（前年同四半期比545.0%増）、四半期純利益は78百万円（前年同四半期比600.8%増）となりました。

品目別では、新旧様々なキャラクターの人気上昇あるいは再燃もあって、年齢を問わずに市場が拡大を続ける「TOYS」の売上高が522百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。また、10年の時を経た新作が公開されるなど、旺盛な発信力を発揮し続けている日本のアニメーション人気は依然として高く、これに関わるDVD、ゲーム等を擁する「その他」の売上高は581百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。さらにTVドラマ化や映画化が相次ぐことで原作まんがに対する注目が集まる「本」の売上高は436百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。加えて、豊かな表現力と媒体を問わない柔軟性を兼ね備え、国内外でファンの増加が維持されることにより、市場規模と商材の何れも拡大の一途にある同人誌市場を反映して「同人誌」は529百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

なお、平成22年9月期第1四半期会計期間に係る経営成績に関する定性的情報については、平成22年9月期第1四半期決算短信（平成22年2月12日開示）をご参照ください。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、8,904百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債につきましては、6,003百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加が、短期及び長期借入金の返済を上回ることによるものであります。

純資産につきましては、四半期利益の計上により、2,900百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前会計期間末に比べ426百万円増加し、当第2四半期末には598百万円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、113百万円となりました。これは主に税引前当期純利益232百万円、減価償却費82百万円に対し、たな卸資産の増加が49百万円、その他の流動負債の減少が93百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、32百万円となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入が40百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、280百万円となりました。これは主に、長期借入による収入700百万円が、短期及び長期借入の返済による支出を、上回ることによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当期も、わが国が誇る文化としてのまんが、アニメーションを世界に向けて広く紹介する営業活動を展開してまいります。さらにまんが、アニメーション関連に限らず、あらゆる中古品に目を向け、その価値を追求して新たな市場の開拓と定着に取り組んでまいります。

この営業活動において、当社は当四半期会計期間中に例年通り新卒者が入社しており、今後の当社を担う人材として教育を進めております。また、優れた人材の中途採用も積極的に推進し、来るべき出店、事業拡大への準備に取り組むなど、人員の増強と事業拡大に向けました経費の先行などによって、当社の平成22年9月期の業績予想につきましては、平成21年11月13日に発表いたしました業績予想から、変更ございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(表示方法の変更)

・四半期損益計算書関係

前第2四半期累計期間において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「業務受託手数料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお、前第2四半期累計期間における「業務受託手数料」の金額は2,220千円であります。

前第2四半期会計期間において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「業務受託手数料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお、前第2四半期会計期間における「業務受託手数料」の金額は1,113千円であります。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,375	171,993
受取手形及び売掛金	140,030	127,469
商品及び製品	3,743,845	3,695,519
仕掛品	1,665	120
原材料及び貯蔵品	21,596	21,666
繰延税金資産	180,060	165,910
その他	87,385	71,921
貸倒引当金	△1,072	△1,072
流動資産合計	4,771,887	4,253,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,486,917	2,482,758
減価償却累計額	△1,083,982	△1,020,378
建物及び構築物(純額)	1,402,935	1,462,380
土地	2,175,269	2,175,269
その他	562,197	561,555
減価償却累計額	△497,571	△486,068
その他(純額)	64,625	75,486
有形固定資産合計	3,642,830	3,713,137
無形固定資産	45,261	52,911
投資その他の資産		
投資有価証券	1,462	41,879
差入保証金	320,151	318,881
繰延税金資産	87,890	78,763
その他	62,712	63,024
貸倒引当金	△27,539	△27,714
投資その他の資産合計	444,677	474,835
固定資産合計	4,132,770	4,240,883
資産合計	8,904,657	8,494,413

(株)まんだらけ(2652) 平成22年9月期第2四半期決算短信(非連結)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,609	44,579
短期借入金	2,561,669	2,711,667
1年内返済予定の長期借入金	195,832	392,672
1年内償還予定の社債	198,500	198,500
未払法人税等	134,744	32,758
賞与引当金	44,346	44,199
返品調整引当金	2,379	—
その他	176,913	298,648
流動負債合計	3,356,994	3,723,024
固定負債		
社債	1,082,750	1,032,000
長期借入金	1,382,432	800,028
退職給付引当金	176,658	156,481
その他	4,854	5,600
固定負債合計	2,646,694	1,994,110
負債合計	6,003,688	5,717,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金	1,117,380	1,117,380
利益剰余金	1,078,595	954,925
自己株式	△132,712	△132,712
株主資本合計	2,900,703	2,777,033
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	265	245
評価・換算差額等合計	265	245
純資産合計	2,900,968	2,777,279
負債純資産合計	8,904,657	8,494,413

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	3,759,458	3,967,763
売上原価	1,974,644	2,055,040
売上総利益	1,784,813	1,912,723
返品調整引当金繰入額	—	2,379
差引売上総利益	1,784,813	1,910,343
販売費及び一般管理費	1,636,480	1,621,099
営業利益	148,332	289,243
営業外収益		
受取利息	335	63
業務受託手数料	—	9,713
債務勘定整理益	—	8,085
その他	13,875	12,375
営業外収益合計	14,210	30,238
営業外費用		
支払利息	51,201	41,157
社債利息	12,037	11,227
その他	21,463	34,929
営業外費用合計	84,702	87,314
経常利益	77,840	232,167
特別利益		
貸倒引当金戻入額	175	175
特別利益合計	175	175
特別損失		
有形固定資産除却損	683	—
その他	—	300
特別損失合計	683	300
税引前四半期純利益	77,332	232,041
法人税、住民税及び事業税	53,577	126,140
法人税等調整額	△17,518	△23,290
法人税等合計	36,058	102,850
四半期純利益	41,273	129,191

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,940,647	2,076,463
売上原価	1,065,546	1,117,106
売上総利益	875,101	959,356
返品調整引当金繰入額	—	△6,634
差引売上総利益	875,101	965,991
販売費及び一般管理費	815,475	797,574
営業利益	59,626	168,417
営業外収益		
受取利息	246	47
業務受託手数料	—	4,582
その他	7,814	6,582
営業外収益合計	8,060	11,212
営業外費用		
支払利息	24,841	20,474
社債利息	5,952	5,536
その他	15,440	15,258
営業外費用合計	46,234	41,269
経常利益	21,452	138,360
特別利益		
貸倒引当金戻入額	75	75
特別利益合計	75	75
特別損失		
有形固定資産除却損	683	—
その他	—	300
特別損失合計	683	300
税引前四半期純利益	20,843	138,135
法人税、住民税及び事業税	30,499	52,578
法人税等調整額	△20,905	6,717
法人税等合計	9,593	59,296
四半期純利益	11,250	78,838

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	77,332	232,041
減価償却費	93,534	82,650
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△175	△175
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,993	146
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	—	2,379
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,769	20,176
受取利息及び受取配当金	△413	△73
支払利息	63,239	52,384
為替差損益 (△は益)	308	295
有形固定資産除却損	683	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,418	△12,560
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△145,482	△49,800
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,194	△1,970
その他	216,304	△141,327
小計	310,870	184,167
利息及び配当金の受取額	335	63
利息の支払額	△65,833	△48,990
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△98,712	△21,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,660	113,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	12,500	—
有形固定資産の取得による支出	△5,556	△4,800
無形固定資産の取得による支出	△45,000	△1,500
投資有価証券の売却による収入	—	40,459
その他	4,500	△1,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,556	32,839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,330,000	1,130,000
短期借入金の返済による支出	△1,010,000	△1,279,998
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△423,845	△314,436
社債の発行による収入	—	100,000
社債の償還による支出	△49,250	△49,250
リース債務の返済による支出	—	△746
配当金の支払額	△7,362	△5,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,457	280,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△308	△295
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△47,661	426,382
現金及び現金同等物の期首残高	212,001	171,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	164,340	598,375

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

6. その他の情報

該当事項はありません。